

アーティストインタビュー

岩井秀人 HIDETO IWAI

小金井市在住の作家・演出家・俳優、岩井秀人による人気企画『ワレワレのモロモロ』小金井編が、ただいま進行中です。

『ワレワレのモロモロ』とは、市民によるワークショップ参加者が、それぞれの人生の一場面を台本化し、演じ、演出して上演する舞台作品。コロナ禍の今回は映像で上映します。自身の人生、家族の出来事を作品にする演劇人である岩井さんならではの企画『ワレワレのモロモロ』への思いをうかがいました。



演劇は現実を捉え直すためのツール 台本を書くことで過去から自由になる

ワークショップ参加者が自分の身に起きた出来事を台本化し、演じる『ワレワレのモロモロ』。約8年前にスタートし、演劇ファンから注目を集める企画が、今、小金井 宮地楽器ホールで行われています。

「そもそも僕は自分の身に起きたことを台本に書いていたので、これは他の人もできるんじゃないかな、と思って8年前にENBUゼミ(演劇学校)で始めたのがきっかけです。だんだん地方にも呼んでもらえるようになり、さらにはフランスにも招かれて。各地を回っての小金井編なので“小金井凱旋”ですかね(笑)」

自分の家族を物語にし、演出し、演じる岩井さんだからこの企画『ワレワレのモロモロ』。人生を題材にした作品には、フィクションの物語では得られない手応えがあると言います。

「みなさんからもらう感想の質が全然違うんですよ。僕ももちろん以前はフィクションを書いていました。初めて家族の出来事を題材にしたときは、他に書くことがなくて仕方なく。そうしたら終演後、お客さんが何の前置きもなく自分の家族のことを話し始めるんです。みなさん、僕の作品の奥に自分の家族を見ているんですよ。僕の作品が、みなさんの人生に別の視点をもたらすものとして機能していたのがありがたかったですね」

『ワレワレのモロモロ』小金井編は台本執筆者と出演者を募集し、ワークショップを経て映像作品を創り、上映します。ワークショップは作品創作の場でありながら、それを超えたものであるようです。

「今回のワークショップでは8人が台本を書きました。僕の作品を見て参加してくれているのでやっぱり重めの家族の話が多くて、中にはその話を初めてオープンにした人もいました。その段階の人は、上映する作品に選ばれる選ばれないは問題じゃない。その話を出すこと自体にものすごい意味がある。書くことで視点が増えて、過去から自由になるのが大事で、その人にとって大きな変化なんです。その人、ワークショップの前と後では顔つきが全然違って見えまして」



「まるでセラピーのようですが」

「僕にとって演劇がほぼそれだった」と岩井さんは語ります。

「暴力をふるう父親を一生懸命悪者にしようと作品を書いて上演して、長年いろんなお客さんに見てもらって対話するうち、どうもただの悪者じゃなかった、という思いに至りました。僕にとって演劇は現実を捉え直すためのツールだったんです。『ワレ

ワレのモロモロ』は、そんなふうに演劇が必要な人が集まって元気になっていく企画でもあるのかなと思っています」

俳優として参加する人にとっても『ワレワレのモロモロ』ならではの経験を得ることになります。

「大抵の演劇の場合、物語の当事者はその場にはいません。でも『ワレワレのモロモロ』では当事者が目の前にいて、その人生に関わった役を演じることになる。身近な話で小さく見えるかもしれないけれど、どこかの国の王様の話をやるよりも、もっと実が詰まったものになるはず。その人物を客観的に見るために役を演じ、別の視点をもたらすために話し合いが起きる、それが演劇の本質的なもので、すごく大事だと僕は思いますね」

小金井 宮地楽器ホールが建って10年 南口の変化に呆然!?

これまで舞台上演していた『ワレワレのモロモロ』ですが、コロナ禍では、映像上映という形態での実施も試みてきました。今回は小金井 宮地楽器ホールの中で出演者自身が撮影も行い、その映像を上映します。

「時代に合わせて表現方法を変化できる、いい企画だと思っています。それに公共の施設って面白いデザインの建物が多いので、撮影でいろんな場所を使えますから。小金井 宮地楽器ホールもそう。武蔵小金井にこんな立派な建物が建って、最初はびっくりしましたよ(笑)」

小金井 宮地楽器ホールが開館して10年。武蔵小金井駅前の景色は変わったと岩井さんは語ります。

「以前は僕の住んでいた北口が南口に完全にマウントをとっていたのに、南口があつという間に拓けて。武蔵小金井シティクロスができて、北口vs南口の長い戦いに完全に終止符が打たれました(笑)。僕がもし『武蔵小金井のモロモロ』を書くとしたら、壮大な『北口南口史』を作ろうかな?」

6月の完成披露上映会では3作品を上映します。事実上小説よりも奇なり!? 小金井から生まれる物語をどうぞお楽しみに。

開館10周年記念

FOCUSこがねい

「ワレワレのモロモロ 小金井編」 完成披露上映会

2022年6月26日(日) 14:00開演 大ホール
全席指定1,000円 ※こがねいメンバーズ優待価格対象外

監修・指導:岩井秀人(作家・演出家・俳優)
制作・出演:『ワレワレのモロモロ』ワークショップ参加者
短編の映像作品を3作品上映予定